

佐藤こんぶ店（横手市増田町） **受験勉強を“粘り強く”**

地元中3生に昆布贈る



横手市増田町の佐藤こんぶ店は2日、高校受験を控えた増田中学校の3年33人に合格祈願のとろろ昆布を贈った。生徒は早速みそ汁に入れて味わい、昆布のように粘り強く勉強に取り組もうと決意を新たにしました。

同店の佐藤丈浩さん(56)が増田中を訪れ、北前船の交易で横手に昆布が伝わった歴史を説明。

「雪深い内陸部で海のミネラルが取れる食べ物として重宝された。職人の思いがこもった昆布を食べ、粘り強く受験本番に臨んでほしい」と激励した。

生徒はインスタントのカップみそ汁に昆布を入れ、とろっとした食感やうまみを味わった。松原凜空さんは「粘りがおいしく、体に染みるようなほっとする味だった。合格を目指して勉強に励みたい」と話した。

寄贈した昆布は、製造過程で昆布が舞い上がる様子から「飛翔」と名付け、合格祈願の商品として販売している。職人は「合格」と書かれた鉢巻きを着け、願をかけながら昆布を削った。

佐藤こんぶ店は2012年から毎年、増田中に合格祈願昆布を贈っている。店頭では「飛翔」（42㌘入り600円）と、おぼろ昆布の「羽衣」（23㌘入り600円）の2種類を販売。今月末ごろまで製造するという。（佐藤悠大）

